

【中国】

11-12月の市場動向トピックス

- 2021年11月の訪日中国人数は、対2019年同月比99.6%減の3,200人であった。
- 2021年12月の訪日中国人数は、対2019年同月比99.7%減の1,800人であった。
- COVID-19の感染拡大により、日本政府による14日間の隔離、査証の効力停止等の対象となっている。2020年4月21日以降、中国政府外交部より海外旅行自粛の指示が出されていることから、観光客の渡航は実質的に不可能な状況が続いている。国際的な人の往来再開に向けた段階的措置として2020年11月30日から運用が開始された「レジデンストラック」及び「ビジネストラック」は、2021年1月14日、緊急事態解除宣言が発せられて以降運用停止となり、宣言解除後も当分の間は停止が継続されている。自国民の日本からの入国については、14日間の施設での隔離等が求められている。日本への直行便は、11-12月も引き続き大幅な運休・減便であった。

11-12月の主なプロモーション活動

- 日本で体験できるスノーアクティビティの紹介を目的に11月、12月にそれぞれ1度ずつ日本在住のインフルエンサーによるライブ配信を行った。スノーシューや犬ぞり体験などの実演を通し、スキーやスノーボードだけではない日本のスノーアクティビティの魅力を紹介。延べ50万人を超える視聴者数を記録し、「体験してみたい」といった声や、一面白銀の世界に「とても美しい」といった反応等、好意的な意見が寄せられた。



- 10月28日～11月27日の期間で、伝統文化をテーマとした訪日旅行の認知向上と興味喚起およびデータ収集を目的にオンラインキャンペーン(<https://www.japan-travel.cn/tradition2021/>)を実施。古い街並みや伝統工芸品等に関する記事を配信し、アンケート等の回答者にプレゼントを提供した。キャンペーンには12の自治体が協賛し、期間中約10万人が参加した。12月5日には、上述のオンラインキャンペーンで人気の高かった古い街並みや街歩きをテーマとしたハイブリッドイベントを上海で開催。日本からのライブ中継や自治体のプレゼンテーション、ワークショップ等を実施した。イベントの様子はインフルエンサーによってオンラインでも配信され、延べ5万人が視聴した。



【オンライン】キャンペーンページ



【イベント】自治体によるプレゼンテーション



【イベント】参加者によるワークショップ